



トミー協働 つうしん

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

第3号



(ワークショップでは、それぞれのグループで活発な意見が出され、地域に対する熱い想いが感じられました。D班)

第二回目の「富山の地域づくりを考える会」が、九月二十九日に富山公民館で開催されました。当日は、考える会発起人代表の前田正昭区長会長、石井裕市長のあいさつの後、第一回目のワークショップ(懇談会形式の話し合い)を振り返り、前回、欠席した人や新たに会員に加わった人の意見を聞き、その想いを付箋に書き加え模造紙に張り付けました。その後、テーマの「地域の魅力をどのように活かすか、課題をどのように解決するか」解決策を見つけたため、「地域で取り組める課題」と考えられるものに、参加者それぞれが三枚のシールを使って投票を行いました。そして、投票の多かったテーマについて、「〇〇の笑顔が浮かぶから」「こうしたらもっと楽しくなるから」「これなら私でもできるかも...経験を生かせるかも...」などの観点から具体的に地域でできることを話し合いました。

地域で取り組めそうな課題を絞り込む

〜第二回富山の地域づくりを考える会〜



市部在住 沼田明彦さん

私の考える地域づくり③

富山地区は、遠浅な海、歴史的な山々など、自然環境に大変恵まれていると思います。高齢化の進むなか、どのような活動をしたら地域が活性化し、住みよくなりますかという難しい問題ですが、これらのすばらしい自然を活かした取り組みをみんなでき、協力して楽しみながら実施できれば、人々の絆も深まり、今よりもっと住みよくなります。いくつかではないかと思えます。

富山の地域づくりを考える会 ～参加者随時募集中～

「地域づくり」は、市民相互そして市がお互いに協力し合って、住みよいまちをつくる大きな目的です。皆さんの知恵を出し合い、想いや夢などを語り合う、「地域づくりを考える会」にぜひ参加してください。第3回目の「地域づくりを考える会」は10月19日です。

※この「トミー協働つうしん」は、協働でつくる地域づくりを推し進めていくための情報発信広報です。毎月一回の発行を予定しています。なお、「トミー協働つうしん」の名前は、「トミー」の名で親しまれている富山地区内を走る路線バスの名前から取られました。この協働つうしんの名は、これから協議会設立の際に、会員の皆様に名付けていただきます。

岩井川上流域で、毎週土曜日に300リットルのEM活性菌を放流しています。放流を始めてから今年で2年目になります。放流の効果は川ばかりでなく、海の浄化にも影響があるということで、会員の皆さんは、魚や貝がいっぱい生息できるようなきれいな海が戻ってくることを願っています。



岩井河川エコ会 会員数18名：生活が豊かになった現在、河川の汚れは都会ばかりではなく地方のほうにも広がってきています。岩井河川エコ会では、人間や自然にとってよい働きをするEM菌(有用微生物群)を団子状にして定期的に放流し、河川の浄化に取り組んでいます。

わがふるさと富山③

湯治堂と小林一茶 (たむらひと富山・富津市史参照)

高崎に古びた薬師堂があります。鉄道のできる際に今の地に移されたということで、元の場所からは今でも鉱泉が出て、一茶が訪れた当時は湯治場として賑わったようです。そのため通称湯治堂と呼ばれています。

「湯の谷やいとときき人の杖のあと」
 「若草やいとときき人のむかし道」

最初の句は、湯治堂に残る奉納句額の中の小林一茶の句です。後の句は、富津市大乘寺にお墓のある、女流俳人の織本花嬌の句です。記録によれば一茶は、花嬌のところへいくたびか宿泊しており、親しく交流していました。この二つの句は、房州にたびたび訪れた一茶と花嬌のロマンスを語っているようですが、一茶の一方的な花嬌に対する想いだったようです。



(高崎の薬師堂にある一茶の句が残)

※奉納句額撮影の際には、地元湯治堂の世話人会の皆さんに、大変お世話になりました。

伏姫と八房のたわ言

今年九月に入ってもいつまでも暑く、毎年、彼岸になると待っていたように咲くヒガンバナも、半月も遅れて咲きました。

「暑く寒くも彼岸まで、
子に小言も十五まで」

このことわざは、私が子供の時によく祖母から言われたことで、後の方は子どもが十五歳になって親から小言をいわれるのは、子どもが悪いことだそうです。このことわざを思い出して、自分が十五歳の時はいたずらをして、親から叱られたような気がしました。

M地域づくり支援員

「存じですか、こんな活動」

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動を行っています。今月は、岩井河川エコ会(能重初雄会長)をご紹介します。



やっと涼しくなりました。体調管理に気をつけてね

「読者の投稿コーナー」

我が家のちょっとシャイな「自慢のペット」を紹介します。(平久里 服部菊枝さん)



(飼い主の服部菊枝さんと一緒にパチリ)

我が家の自慢のペットは、ウサギの連くんです。一年ぐらいい前に近くの商店からいたいただきました。連くんは機嫌が悪いと足踏みをして自己主張をします。年齢は三歳ぐらいい、抱っこが嫌いな、ちょっとシャイな男の子です。

※投稿についての問い合わせは富山協働推進室へ TEL57-3799

房日の短歌の選者をされている、山田にお住まいの戸倉篤さんから、老人会員が俳句をつくったので、紹介してほしいと投稿がありました。

山田老人会(鈴木俊子会長)では、このほど、定例会のあとに高照寺の境内を散策し、おもしろい頭に頭をひねり俳句をつくりました。皆さん俳句は初めてのことですが、作者の名前を出さないということでしたので、生き生きとした句ができました。

- ・阿弥陀如来に詣でる蜂の子せわしげに
- ・愛されて彼に先立たれひとくろく
- ・稲の穂の重くたれてきて暑気つづく
- ・蝉しぐれとぎれとぎれの暑さかな
- ・毎月のあつまりたのシルバ会
- ・ペタンクや木かげさがしてひと休み
- ・この暑さトマトも我もしおれけり
- ・曲りかどしとばったり見合いかな



(思わず立ちあがって、議論に参加 E班)

B班

- ① 地域の環境美化
- ② 安心安全社会にしよう
- ③ 高齢化(者)へのサポート問題

C班

- ① 観光の受け入れ態勢の充実
- ② 豊富な歴史伝統文化の活用
- ③ すばらしい自然資源の活用
- ④ 豊富な農水産物の利用
- ⑤ 富山学の普及

E班

- ① モラルの低下による環境破壊
- ② 安心安全な地域社会(救急と防災)
- ③ 若者を呼び寄せるための地域産業の振興
- ④ 自然・歴史文化財の保存保護
- ⑤ 人口減少と高齢化

地域づくりのために自分は何ができるのか、 具体的な活動について意見を出し合う - 第2回富山の地域づくりを考える会 -

A班

- ① 祭りを初め、歴史文化資源に恵まれている
- ② ボランティア活動が盛んである
- ③ 海・山の安心気軽に利用できる観光資源がある
- ④ おいしい農産物・海産物がたくさんある
- ⑤ 国保病院と老人施設があって安心



(地域に対する思いを語り合い、熱が入る B班)

D班

- ① 気軽に楽しめる低名山を中心とした憩いの場づくり
- ② 守りたい清流(岩井川・平久里川)
- ③ 田んぼが育む美しい自然と生きもの・植物(ホタル・紫蘇)
- ④ 富山の活力『富楽里』【次代に引き継ぐ】
- ⑤ 民宿の“村”



(豊かな発想で、奇抜なアイデアを出し合う A班)



(参加者それぞれが思い浮かべる地域づくりは C班)

「底力シート」には「〇〇の笑顔が思い浮かぶから」「こうしたらもっと楽しくなるから」「これなら私にもできるかも…経験を生かせるかも…」の三つの視点を参考にして、どうしたらこの三つの視点を満たせるのか、それぞれ意見を出し合い、その想いを語っていただきました。最後に話合いの結果を五つのグループそれぞれが発表して、ワークシヨップを終えました。

各班で出したテーマは、左の五つの表のとおりになりましたが、これらのテーマの元になった各グループの意見の一部もご紹介します。

A・C・D班(地域の魅力を活かす)
 ○「山のふもと千枚田や空き地に赤シソを作り、これを利用した飲み物やお菓子を作る」
 ○「B1グループに挑戦する」
 ○「富楽里のまわりでペットを連れて散歩している人が沢山いるので、遠慮なく散歩してもらえぬコースを作る」
 ○「南総里見八犬伝」縁りの場所を結んだツアーをつくり、案内する

B・E班(課題の解決)
 ○「休耕田の草刈りを手伝う→イノシシが住みにくくなる」
 ○「各地域で二〜三人の見守り隊を結成して見守る」

地域をよくしていくには、今まで以上に行政と市民が一緒になって行動していく「協働」の体制をつくって、より強化していくべきだと思っています。

「協働」を進めていく中で、行政も頭を切り替えて、市民の方と一緒に考えて、行動していきたいと思っています。

地域づくりの一番の大きな原動力は「市民力」



あいさつする石井市長

地域をよくする一番の大きな原動力として、私は「市民力」という言葉を使わせていただいています。市民一人一人が、地域をどうしたらよくしていくことが、「市民力」だと考えています。

今回の富山の地域づくりを考える会は、「地域のみんなを力合わせてできる」トミーを考える」をテーマにワークショップを行いました。

地域づくりの活動のきっかけは、「地域の特性を活かせる」「地域課題の解決につながる」「自分のやりがいや生きがいにつながる」「やってみて楽しい」などの要素が大きくなりました。

当日は、富山の地域づくりでよりよい活動を行うためには、「〇〇の笑顔が思い浮かぶから」「これなら私でもできるかも」などなど、自分は地域づくりのために具体的に何ができるのか、意見を出し合いました。

個々の意見を二十三のテーマにして
底力シートにまとめる